

第 3 次天草市総合計画基本構想（素案）

◆第 3 次天草市総合計画で目指す天草市の将来像

ともしながら 幸せ実感 宝の島 “天草”

天草市には、人情豊かな“ひと”と美しい自然や豊富な農林水産物、古来から受け継がれてきた歴史や伝統文化など、多くの誇れる“地域資源”があります。これは素晴らしい宝です。

その中でも一番の宝である私たち“ひと”が地域を見つめ直し、何事にも他人ごとではなく“自分のこと・みんなのこと”としての気持ちを持ち、多様な価値観を認めながらともに手を取り合い、ともにチカラを合わせ、ともに地域資源を磨き上げていくことで、より光輝く魅力ある宝の島“天草”で日々暮らせることの幸せが実感できている姿を表現しています。

※市民と行政がともにつくり上げる計画とするため、
「私たち＝市民と行政」という表現を用いています。

◆将来像の実現に向けた理念（目指すこと）

ともし学びともし育つまち

天草の将来像を描くのは私たちという気持ちを持ち、ともし学び、ともし手をたずさえ、地域のつながりを深め、一人ひとりが自ら考え行動し活躍できるまちを目指します。また、歴史と文化を感じ、多様性を認め合い、誰もが感謝の気持ちを持ち、天草に愛と誇りをもてるまちを目指します。

つながり稼げるまち

これまでにない考え方を取り入れ、農林水産業や商工業、観光業などの様々な産業がつながり、域内経済が好循環する新たな経済社会の仕組みを生み出し、“なりわい”を創出するとともに、誰もが安心して働ける場所があるまちを目指します。

やさしさと安心のまち

未来を担う子どもたちを育み、私たち一人ひとりがいつまでも元気に暮らし、お互いにやさしさと思いやりの気持ちを持ち、地域ぐるみで助け合い、支え合い、誰もが安心して住み続けられるまちを目指します。

自然と共生するまち

天草の恵まれた自然を愛し、学びを通して自然環境の保全や自然資源の活用に取り組み、自然と共に生きるまちを目指します。また、様々な分野と連携した取り組みにより、脱炭素社会の実現に向けたまちを目指します。

挑み続ける行政経営

行政は、市民の視点に立ち、社会のあらゆる変化に部署を越えて総合力で対応するとともに、職員一人ひとりが最大限の能力を発揮できる組織づくりを目指します。また、安定した財源の確保と的確な投資による健全な財政運営を目指すとともに、効率的かつ効果的な行政システムにより、挑み続ける行政経営を目指します。